

高取小だより

令和6年5月22日



三本桜

第7号

ふかく考える子 あたたかみのある子 がんばりのきく子
5月の目標：けがに気をつけよう

夢に向かって、一人一人が全力プレー

児童会役員が6月1日（土）に開催予定の運動会に向けて、スローガン「夢に向かって、一人一人が全力プレー」を発表しました。このスローガンには、「最高の自分をめざし、運動会を盛り上げよう」「めざせ最高の自分、最高の高取っ子」という熱い思いが込められています。

各学年の練習にも熱が入ってきました。当日は高取っ子の躍動感あふれる演技に魅了されることは間違いありません。高取っ子にとってはもちろん、保護者の皆様にとっても、思い出に残る運動会となるように、以下のことにご留意ください。よろしくお祈りします。

①規則正しい生活リズムですごす

十分な睡眠をとり、朝ごはんをしっかり食べさせて登校させてください。

②熱中症対策をする

帽子・水筒・タオルを忘れず、水分補給をこまめにさせてください。また、気分が悪くなったら、すぐに近くの友達や先生に伝えるようにさせてください。

③けがの予防をする

つめを切り、くつは足のサイズに合ったものをはかせてください。



【スローガン発表をするY会長はじめ児童会役員】

ことば

ゴールデンウィークを過ぎた頃から、暑い日、強い雨の日、そんな日が短い周期でやってくる印象です。お子さんの体調管理にはくれぐれもご留意いただきたいと思います。

昨今の天候状態を考えれば、雨の影響を受けた日もありましたが、大きなけがや大きく体調を崩す子どももなく、学校生活がほぼ計画どおりに実行できていることは、本当にありがたいことと感じています。

今回は「ことば」について考えてみます。地球上で暮らしている私たちは、地域によって言語や習慣に違いがあっても、祖先はみな共通であることが科学的に証明されています。諸説ありますが、私たちの祖先は遠い昔にアフリカの大地で誕生して進化し、5万年ほど前にアフリカを出て世界中へと広まっていったそうです。祖先を同じくする生き物がこれほど短期間に、地球のいたる所まで広がることは、生物の進化でも極めてまれなことだそうです。なぜ、こんなことが可能だったのか？ その要因はさまざまあると想像しますが、個人的には「ことば」を手に入れたことが大きな要因になったと考えます。

「ことば」を使ってコミュニケーションを取り、互いを理解し合ったり、知識や物を交換して生活をより豊かに、そして人類ができることを増やしていった結果だと思えます。このように考えると、普段当たり前のように使っている「ことば」が、とても大切なものを感じてきます。相手を傷つけ、争うだけなら「ことば」は必要ありません。大きな声を張り上げ、腕をグルグル振り回しさえすれば済んでしまうからです。「ことば」は人と人とが友好を深めるために発達してきたものであると確信しています。意図的に誰かを傷つけることに使うなんてとんでもない、そう感じるのです。

来月には運動会や少年の主張大会が予定されています。励ましの「ことば」を掛け合っ力を合わせる、「ことば」を使って意見交換して学校生活をより豊かにする、そんなチャンスが待っています。ぜひ、「ことば」を本来の目的で使ってほしいと願っています。

かわいい子には・・・

ドジャースファンの皆さん、私はチームのために最善を尽くし、自分自身が最高の状態でいられるよう常に全力を出し続けることを約束します。野球人生の最後の日まで、ドジャースのためだけでなく野球界のためにも努力を続けていきたいと思えます。

これは、アメリカ大リーグ・ドジャースの大谷翔平選手が移籍時に発信したメッセージの一部です。ご承知のように、シーズン当初から通訳問題で苦境に立たされます。しかし、現在は本来の力を発揮して大活躍中です。

ロバーツ監督は、「大谷選手はどう対処していたか」と聞かれ、次のように答えています。「フィールド上であれ、グラウンド外の問題であれ、逆境に立たされないとその人の本質は出ない。彼は動じていない。最初の1週間、結果が出なくても、彼の練習姿勢を見る限り、自分のやるべき仕事とそれ以外のことをうまく切り分けてやっていた。ポーカーフェイスでこなしていた」と大谷選手の精神面でのタフさを称えました。

全ての高取っ子に当てはまるわけではないでしょうが、達成できるかできないか、少しでも高めの目標設定をさせることが人間として成長していくための鍵になると考えます。保護者の皆様にとっては、今後どこかで、あえて「かわいい子には旅をさせる」場面が出てくるのではないかと思います。